

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム [汗かくメディア]2011 受賞作品公開展示

2011年9月10日[土]—25日[日]

会場：愛知県児童総合センター

開館時間：9:00～17:00
休館日：9月12日(月)、20日(火)
入場料：中学生以下無料、その他300円
主催：愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)

愛知県児童総合センターは、1996年の開館以来、「アートと遊びと子どもをつなぐプログラム開発」として、子どもたちがアートを介して、五感を駆使し、新たな〈人・環境・素材・発想〉と交流する「遊具」や「遊びのプログラム」を全国公募してきました。私たちがアートに着目したのはアートに内在する、固定観念を問い直し自由に発想し表現する姿勢が、子どもの成長の力となる「遊び」と多くの共通点を持つと考えるからです。2007年からは、「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム」として、子どもたちをキーボードやディスプレイに張りつけてしまうのではなく、むしろそこから開放し、汗をかきながら、身体全体で現実の新しい世界に主体的に関わっていきけるようなメディアプログラムを全国公募しています。今年も、全国から43の提案をいただき、選考会によって「汗かくメディア賞」3点を公開展示します。愛知発「世界で初めての遊び」を体験してください。



作品名：ビュートレス

愛知県児童総合センター内の風景を映像に撮り壁面に写し出します。映像風景の中の「丸、三角、四角」などの形の輪郭線をなぞって壁に描いていきます。最後に映像を止めるとそこに皆で描いた抽象的な風景が現れます。ビュートレスとはview(風景)をtrace(なぞる)をつなげた造語です。

作者名：河村るみ

1980年愛知県生まれ。愛知県内の高校、大学、大学院で美術を学ぶ。存在するものあり方を考え、主にパフォーマンスや映像を使ったインスタレーションを展開しています。



作品名：NOBYON

ゴムとび遊びをするように、張られたひもを足で踏んだり、ひねったり、ひっかけたりすると、ひもの伸縮やたわみによって様々な音が鳴ります。踏み方を変えてみたり、遊ぶ人数によっても音が変わります。

作者名：木下智加

東京生まれ埼玉育ち。IAMAS卒。発明主婦になることを夢見て、どこの家庭にもある日用品を使って作品を作っています。



作品名：the blue garden

協賛：HARJO ハリオガラス株式会社

砂の上に投影された海と魚たち。投影された海の映像の中には、人を見つけて寄ってくる魚や追いかけて逃げていく魚が泳いでいます。ひんやりとした砂の海に裸足で入り、たくさんの魚たちと遊びましょう。見ず知らずの子どもたちが一緒になり、逃げる魚を捕まえ、魚を忘れ砂山を一緒に作ったり、the blue gardenは、海と魚、白い砂を通して自然に人の繋がりを感じます。

作者名：柴田悠基 (color_4)

color_4：石川智弥、柴田悠基、戸島麻貴、松本祐一
東京芸術大学を中心に4つの専門性を持った作家が集まり、電子美術に限定されない様々な表現を探るユニット。代表作：『Beyond the sea』(戸島麻貴)
神戸ビエンナーレ2009 アートインコンテナ 神戸ビエンナーレ大賞受賞

愛知県児童総合センター

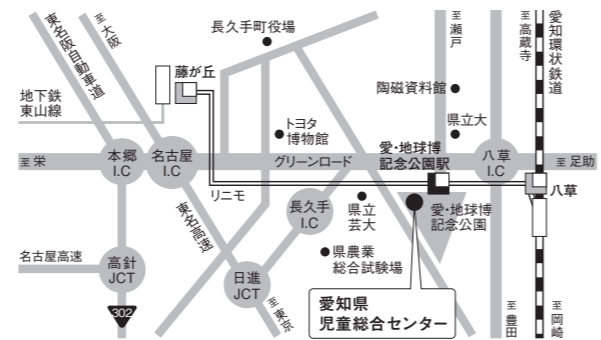
愛知県児童総合センターは「遊び」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきや実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。



〒480-1101
愛知県愛知郡長久手町熊張
(愛・地球博記念公園内)

TEL 0561-63-1110
<http://www.acc-aichi.org/>

開館時間＝9:00～17:00 入場料＝中学生以下無料、その他300円
9月の休館日＝5、12、20、26日 10月の休館日＝3、11、17、24、31日 11月の休館日＝7、14、21、28日



公共交通機関で... 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」からリニモ「愛・地球博記念公園駅」下車
車で... 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter 2011 秋



愛知県児童総合センター

全国児童館・児童クラブ あいちプレ大会
ACCのココがすごい! / 子育てのおはなし / 募集とお知らせ
アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム
汗かくメディア2011 受賞作品公開展示



全国児童館・児童クラブ あいちプレ大会

全国におよそ24,400ある児童館・児童クラブで子どもたちに関わっている人たちが集まり、「子ども」のことを真剣に考える全国児童館・児童クラブあいち大会が平成24年の秋に開催されます。今年はそのプレ大会を11月3日(木・祝)にモリコロパークの地球市民交流センターで開催します。児童館・児童クラブ職員だけでなく、親子でも様々な遊びを体験できる「あそびば」がオープンしますので、みなさんぜひ、ご参加ください。

- ▶ 開催日 = 2011.11.3 (木・祝)
- ▶ 場所 = モリコロパーク 地球市民交流センター



▼ 親子のみなさん



「出前じどうかん - あそびば -」

時間: 10時30分～16時

秋のモリコロパークに、親子で楽しむことができる「出前じどうかん - あそびば -」がオープンします。県内各地の児童館スタッフが、イチオシする遊びが大集合。身近な材料を使った工作や親子で参加できるゲームが体験できます。

- 問合せ ▶ 全国児童館・児童クラブ 〒480-1101 愛知郡長久手町熊張 愛・地球博記念公園 愛知県児童総合センター内
 ▶ あいちプレ大会実行委員会事務局 TEL 0561-63-1110 http://www.acc-aichi.org/2012blog/

検索 🔍 児童館あいち大会

ACCのココがすき!



夏休みの1日をACCで楽しむ家族にインタビュー

「aru」。影を動かすことが楽しかった。
彦坂 こうせいくん

「aru」。いろいろ積めたり、進めたりできるのがおもしろい。彦坂 けいじくん

影絵あそびが良かった。彦坂 慎さん

遊びが決められていなくて、大人も子どもと同じように夢中になって遊べる場所。彦坂 美樹さん(田原市)



たくさんのお友達がいる、はだして走り回って遊べるのが大好き。
熊谷 匡真くん

実家に帰ると、いつも子どもとここへ来るのが楽しみです。全身を思いっきり動かし、おもちゃや絵本でじっくり遊んだり、成長するにつれて今まで出来なかった事が出来るようになり、そんな子どもの姿を見られて嬉しいです。熊谷 由紀さん(京都府)



▼ 児童館・児童クラブ職員

「基調講演」と6つのテーマの「分科会」を開催します。今の「子ども」をとりまく様々な環境について、現場で日々感じていることをきっかけに考え、話し合う時間をもちます。大会終了後には参加者同士で情報交換ができる交流会も開催します。

基調講演

「地域・行政が支えあい 育ちあう子育て拠点のスタート」

時間: 10時15分～11時30分

講師: 鈴木 一光さん(財団法人 児童健全育成推進財団理事長)



分科会 時間: 13時30分～16時

- 第1分科会 / あそび遊びってなに - 実験・体験わくわく広場 -
- 第2分科会 / 家庭・親支援 気付こう子どもの思い 語り合おう私たちにできること
- 第3分科会 / 児童館・児童クラブの男性職員 男祭 ～男性職員のネットワークを広げよう!～
- 第4分科会 / 子どもの発達 今の子どものノーマルな発達～より良い援助をするために～
- 第5分科会 / 中高生 思春期の児童に寄り添う私たち!
- 第6分科会 / 児童館・児童クラブのあり方 ぶっちゃけトーク! 自分達の役割を再確認しませんか?



「平均」と「標準」

子育てのおはなし

5

臨床心理士 後藤 かをり

そんなことをしてもつまらないし、どうにかなるものではないとよくわかってはいるのに、ついつい誰かと比べてしまうのは、高度成長経済と共に教育を受け育ってきたということも「因」なのではないか、私のよくない習性です。

子育ての最中も、ミルクを飲まなくてなかなか体重が増えなかった子どもの大きさを、言葉の出方、ご飯の食べ方やオムツの取れ方などの進み具合、はてさて本来、標準も平均もない、他の子へのやさしさや、積極性、リーダーシップの持ちように至るまで、いろいろなことが気になりました。

「平均」や「標準」から早かったり、大きかったり、よい(?)方だと安心し、至らないと何だか将来のことが不安になったり。今、過ぎてしまっても考えれば、とつてもつまらないことだったり、どうでもよいことなのに、そのときは結構真剣に考え込んでしまっていた。体重的には、「大きくして食べるわけではないから」というある人の言葉で救われ、積極性については、「人を押しつけていく図々しい人よりいいか!」と思いつき、そして何より子どもたちの育ちに支えられて過ぎてきましたが...

一方で「個性的に育つてほしい」と確かに思っているのに、「平均」や「標準」が気になります。「他

の人と同じくらい」であると安心という気持ちが自分にあったなあと、思いますが。結局私は、「個性的に」「標準から逸脱して」生きることにのしんどさを引き受ける覚悟ができていなかったんだろうなあと、思います。「平均」や「標準」であれば、親も子も楽な生き方ができるのではないかと錯覚して...。ところがどうも、子どもは、このようにならなければ親の打算や迷いを超えて大きくなり、否応なくその子らしさを発揮していくたくましい存在でした。

今の若いお母さん方と接していると、この辺のところを突き抜けておられる方がいて、頼もしいなあと感じます。同時に、「平均」や「標準」に縛られてしんどそうなお母さんも同じくらいいらっしやるような気がします。

どの子も個性的で、他にはないひとりで、「平均」や「標準」にとらわれない生き方は、わが子にも、他の子どもたちにも、自身や周りの人々にも寛容になります。生きる勇気ができます。子どもの人生も、楽しくまた苦難に満ちています。「平均的」な「標準的」な子どもと同じように、楽しく苦難に満ちた人生を送っていきます。それを味わい、楽しさ多く、苦難がなければ、ありますようにと祈りながら共に歩む親でありたいと思います。

募集とお知らせ

「あのねっとクラブ」

子どもと保護者を対象にした遊びのクラブです。わくわくするような感覚遊びを中心に親子で楽しく遊ぶ5回連続の講座です。5回を通して、親にとっては子どもの新しい姿を発見すること、ほかの親との交流を深めることができ、子どもにとっては人や場に親しみ思い切り遊ぶ体験の場となります。第3回は、お父さんも参加するプログラムになります。家族みんなで楽しんでください。

- 第1回 「ウゴイテあそび」
- 第2回 「ヘンシン!であそび」
- 第3回 「パパのクッキングタイム+ママのジブンジカン」
- 第4回 「サワッテあそび」
- 第5回 「ママのみんなジカン」

開催日: すいすいコース... 11/9、16、23、30、12/7
 もくもくコース... 11/10、17、24、12/1、8
 対象: 2歳半～3歳の子どもと親(平成19年11月～21年4月生まれ)
 5回連続のプログラムに全て参加できる方。
 託児: あり 各コース定員5人(希望者多数の場合は抽選)
 定員: 各コース15組(希望者多数の場合は抽選)
 参加費: 無料(入館料300円が必要)
 申込み方法: 電話にて9/9(金)9時～受付
 締切: 10/9(日)17時まで 参加のお知らせ: 10/13(木)ブログ・あのねっとメールにて、参加が決定された方の「受付番号」を発表します。
 (参加者には、後日必要書類を送付いたします。)

ACCC (あいちこどもクリエイティブクラブ)

愛知県児童総合センターでは、年間を通じて活動する遊びのクラブを実施しています。



●ACCC「畑プロジェクト」

そとのひろばに、畑や庭をゆつくりのんびり作っていくプロジェクトです。みんなで土を耕し、穀物や野菜、ハーブ、花などの種をまき、栽培・収穫・調理・食事などさまざまな体験をとおし、私たち生きものと「太陽」「空気」「水」「土」とのつながりを肌で感じ、家族や仲間と一緒に自然をたっぷり楽しみます。

活動日: 毎週土曜日(10時～12時) 雨天中止
 対象: 5歳以上(大人同伴)
 定員: 50名程度
 場所: そとのひろば(児童総合センター北西側)

●ACCC「あそびの企画会議」

センターの遊びを体験、メンバー自ら活動プログラムを企画し実施します。みんなで遊びを考えたり、センターとつながりのある大人と交流したり、遊んだり、ここでしかできない体験ができます。

活動期間: 10月～3月まで(14時～16時)
 対象: 中高生 定員: 10名程度

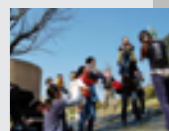
●ACCC「ジュニアスタッフ」

土・日曜、祝日に実施している「あつまるあそびプログラム」の「手伝い隊」として活動します。遊びの準備や片づけ、参加者への案内など、スタッフと一緒に遊びを運営することを通じて、遊びの魅力や人とつながる喜び、大切さを体験します。

活動日: 毎月1回(日曜日) 12時30分～16時
 対象: 中学生 定員: 20名

親子であそぶ「トコトコプログラム」

「大人が楽しいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもと「お母さんやお父さん」が楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的な遊びを中心に行うような遊びを親子で体験します。



開催日: 毎週水曜日
 対象: 1歳から3歳の未就園の子どもとその親
 定員: 15組程度
 参加費: 無料(入館料300円が必要)
 参加方法: プログラム開始30分前から1Fインフォメーションで受付、定員になり次第終了
 ※プログラム・開催時間については、HPをご確認ください。

「移動児童館・ゆめたま号」

～10月・11月の開催地決定～

児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。遊びをとおして、たくさんのお出合いを楽しみにしています。



○開催地
 10/18(火) 新城市 / 千郷東子育て支援センター
 11/8(火) 大口町 / 大口北児童センター
 11/11(金) 碧南市 / 碧南市こどもプラザららるにしばた
 11/25(金) 北名古屋市 / 鍛冶ヶ池児童館
 ※参加につきましては、各施設へお問い合わせください。

問合せ・申込み先

愛知県児童総合センター
<http://www.acc-aichi.org/>
 Tel 0561-63-1110
 くわしくはホームページまたは募集チラシをご確認ください

